

高1・高2有志による座談会

## 史上最高にグダグダな座談会（仮称）

「この座談会は、旅行・鉄道研究部の未来を担うはずだった現高2のスタッフが『とりあえず座談会開いて停車場に載せてみようぜ（笑）』という発言から始まったものである。」

もはや伝統と言っても過言ではないこの前書きですが、今年も高1が若干混じった座談会。

### 登場人物

---

-高2-

前川…部長。生粋の模型班員。座談会 PART1 の執筆者。年上の上品な女性が好き。

窪田…模型班長。「清掃員」「ヨーグルト中毒」「トイレマスター」など様々なあだ名を持つ。

西山…HP 班員。音ゲーとヨドバシカメラをこよなく愛する。

-高1-

鶴木…模型班技術課長。ジャンク品をよく買ってくるので、あだ名は「ジャンク」。

### 場所

---

大井町のサイゼリヤで行ないました。決まるまでにも紆余曲折が……

参加者…前川、窪田、西山、鶴木

### とりあえずはじめましょう

---

前川（録音開始）「はい、始めた」

窪田「やあ～、しかし今日は暑いですねえ～」

鶴木「わざとらしいんだよ w」

西山「いや～ジャンケンで負けちゃったんでサイゼになりましたよお～」

鶴木「何で説明口調なんだよ ww」

窪田「だからさっき、録音機が回ると緊張しちゃうって言ったのにさ…その通りになってしまった…」

窪田「ちょっとトイレ行きたいんだけど」

前川「行ってこいよ」

鶴木「トイレマスターはまずトイレに行かないと」

前川「トイレマスター窪田」

窪田「そういうの言わなくていいから」

-窪田トイレへ-

前川「僕カルボナーラで決定だから」

西山「早すぎ」

鵜木「ドリンクバーと…」

西山「バーミヤンに行ったらこの値段より 100 円安い値段で餃子 12 コ食べたよ」

鵜木「バカじゃないの」

前川「主食に餃子 12 コは食わねえよ」

-以下略-

前川「西山なんか喋って」

鵜木「なんか喋ってって言われてもねえ」

西山「俺がジャンケンに勝ったらバーミヤンに行ったんですけどねえ〜」

鵜木「未練タラタラじゃねえか。だったら最初からバーミヤンがいいってはっきり言っとけよ」

前川「言ってたよ」

鵜木「じゃあバーミヤンで良くね」

前川「いや僕がジャンケンで勝ったから」

西山「どんな不毛な会話だよ ww」

-窪田トイレから無事生還-

窪田「あっつーい」

西山「あー（メニューが）決まんね」

西山「（エスカルゴを見ながら）ねえこれってさ、たこ焼き器みたいな形してね?」

窪田「え?」

鵜木「は?」

西山「これってさたこ焼き器みたいな形してね?」

鵜木「何が言いたいんだ」

前川「そういうもんだから」

-どお〜でもいい会話 省略…-

「ピンポーン」注文完了!!

鵜木「ドリンクバーなんかとって来てあげようか」

窪田「じゃあ僕お茶」

鵜木「分かったお茶ね?うふふふふ」

-鵜木と前川 ドリンクバーへ-

なかなか座談会が始まらない……

窪田「やあ〜もおねえ鉄研中 1 人とき入ってこんなんやってるんだあって思っていたら自

分の番……あつという間だよね」

西山「わかる。5年間こんなに早く経ってしまった」

窪田「ほんとにみんななんかどの高2もさ、毎年誰かひとりぐらいあつという間だって言ってるけどさ、ほんとにあつという間だよね。あと3ヶ月…」

西山「3ヶ月…マジ…」

窪田「4ヶ月?5ヶ月?でもあと4ヶ月したらオーストラリア行ってんだよ」

西山「オーストラリアから鉄研に帰る場所無くすのか…辛い……」

窪田「今年もまたティムタム買うのかな」

-前川帰還-

窪田「え、ティムタムだよ。あのオーストラリアのお菓子」

前川「そうだよ。なんで?」

窪田「またオーストラリアに行ったらティムタム買うのかなーって」

前川「ああ〜(鉄研では毎年、高校生の修学旅行のオーストラリア土産に、ティムタムという甘ったるい非常においしいお菓子を買う伝統がある)

窪田「でもこないだマルエツで売ってたよ」

西山「ああ〜そうそう、ティムタムって意外とさあ、チェーン店に売ってね?」

前川「西山は(ドリンクバー)自分で取りに行く?」

西山「ああそうだね」

窪田「僕お茶ね。3回目?」

-前川 窪田のお茶を取りに再びドリンクバーへ-

西山「とりあえずみんな戻ってきたら鉄研旅行とか入学当時の話でもしますかね」

窪田「鉄研を語る」

西山「鉄研を語れ」

窪田「何語るのかなあ」

-鵜木帰還-

鵜木「録音中の機械いじっちゃ駄目でしょ」

窪田(口元にマイクをあてながら)「そうだよね」

-前川 再度帰還-

前川「それ壊れるからやめて」

窪田「壊れるの?」

前川「壊れるよ」

窪田「ああそういうお茶?」

前川「はい、煎茶」

窪田「冷たいお茶を思ってたんだけど」

西山「あははははははははは」

前川「絶対そういうと思ってたから」

窪田「コレどうやってやんの?ピチャピチャッてやんの?」

前川「それ(ティーバッグ)をお湯に入れて、1分から1分半ふたするんだって」

窪田「すぐ飲めないじゃん」

-1分半経過-

窪田「ぶは——っ やっぱり日本人はあついお茶だよな」

鶴木「そういえばドリンクバーの野菜ジュースのノズルが荒ぶってて」

前川「ああ、あれおかしいよね」

鶴木「水が横に飛び出て原液しか入らないっていう。甘過ぎ」

店員「失礼します、カルボナーラでございます」

-注文が全て揃いました-

窪田「いただきまーす」

-食事中 全員無言……

ようやく座談会始まりますよ

---

前川(カルボナーラ完食!!)「じゃそろそろ始めようよ」

窪田「じゃあ……私たちは4月に入学しました」

前川「そういう司会的なのやめようよ、もっとフランクに行こうよフランクに」

鶴木「鉄研旅行の思い出じゃないの?」

前川「鉄研旅行だけじゃないよ。全体的にこう、高学祭とか、入部したときとか。なんで入部したの?」

窪田「僕は入部したの遅かったんだよねえ〜」

前川「なんで?」

窪田「やあなんか最後まで迷ってて」

西山「いうて中1の時からいたでしょ」

窪田「やあでも中1の1学期の期末1週間前に入部届出したから」

前川「何でそんな一番忙しいときに出したんだよ」

窪田「初めて鉄研の活動に行ったのがオープンキャンパスの前々日ですごい煙たがられて」

前川「アレは?書道部だっけ」

窪田「ああ最後に書道部に行ったら、なんか物理室で追いかけっこしてて、この部活なんか怪しそうと思ってやめたの。でそしたら鉄研の方がもっと怪しかったっていう」

-一同 爆笑-

前川「でじゃあ西山は……西山はいつ入ったんだっけ?最初っからいたっけ?」

西山「最初からいたはずだよ俺は」

窪田「最初っていつ?」

前川「いついつ？」

西山「いつって言われても……全然覚えてない。真面目に覚えてない。中間試験始まる前だったかな」

前川「じゃあ一番最初か。へー。なんで鉄研にしたの？」

西山「まあ鉄道好きでね」

前川「僕も一緒だけど」

窪田「僕は模型班で活動体験して、いろんな部活見学して、なんか HP 班の見学を一度もせずに鉄研に入った」

前川「あそうなの。それで模型班にしたの？」

窪田「いやパソコンに興味が無いってのもあったけど。パソコンに興味が無くて、模型が好きだったから。小学生の頃から鉄道模型持ってたしね」

西山「中 1 の頃の HP 班知るの俺だけなんだよね」

前川「ああ、そっか、そうだよ。何で HP 班にしたの？」

西山「BVE 作ってみるの面白そうだなって思ったんだよ」

窪田「最初から…高輪に入る前からみんな鉄研のこととか知ってたの？」

前川「もちろん。一応高学祭も行ったし」

窪田「そうなの？」

前川「うん」

窪田「へー。僕ぜんぜんそういうの知らなくてさ、なんかこう、先輩になってからいろんな後輩の話とか聞いてると、けっこうもう高輪の鉄研に入りたかったんだみたいな人が結構いるしさ、みんな事前に、小学生の頃から事前にそういうこと調べてやってんだなーって」

前川「でじゃあジャンクは何で鉄研に入ろうと思ったの？」

鵜木「なんか鉄研のある学校に入りたくて、色々見たけど、高輪が一番やばそうだったから」

窪田「だいたい鉄研ってあるでしょ」

前川「意外とないよ」

## 中 1 鉄研入門旅行について

鵜木「では鉄研旅行の話ですね」

窪田「早くない？」

前川「その前にオプキャン（オープンキャンパス：毎年 7 月に開催）があるでしょ」

鵜木「その時俺ゲストとして来ていたから」

前川「あ、そっかお前は中 1 の時いなかったから」

窪田「じゃあ 1 年間黙っていてよ」

鵜木「すいませーん」

前川「1年間黙っとけとかww」

窪田「でも中1の時のオプキャンで行った(働いた)人とかいるの?前川はいたの?」

前川「いなかったよ」

窪田「普通いないよね」

西山「普通いないよ、あれ」

前川「じゃやっぱ鉄研旅行か」

窪田「入門旅行?」

前川「入門旅行(かつて存在した中1向けの旅行。現在は夏冬の旅行が日帰りのため消滅)」

窪田「あれって誰が作ったの?僕さあ、あの、なんか入門旅行を中1が決めて、それで普通の(鉄研)旅行みたいに選挙で決めてるってことを、中2の時に知って、何せ入ったのが遅かったから。一学期に一回も部会行ってなかったから」

前川「僕も一応案出したんだけど、最後の二つになって、ボツになった」

窪田「どういう案だったの?」

西山「甲府いくやつでしょ?」

前川「神戸?」

窪田「神戸?」

西山「甲府、甲府。長野の方だったでしょ」

前川「うん、長野の方。あの一碓氷峠を越えて、小海線だったかに乗るやつ」

窪田「へえ」

前川「でそれが駄目になって、(元国鉄)101(系)に乗る旅」

窪田「ああ、秩父?」

前川「うん」

窪田「パレオエクスプレスだよ」

前川「101の方がメインでしょ」

窪田「そう?」

前川「そりゃっそうでしょー」

窪田「そう?」

前川「当たり前でしょ」

窪田「絶対SLでしょ。皆さんどう思いますか?」

鶴木「いちまるいちい」

前川「でしょホラ」

窪田「みなさんって鶴木君じゃなくて読者の皆さんだから」

前川「で西山はどっちだと思う?」

西山「パレオエクスプレスでしょ」

前川「ええ〜」

窪田「普通そうでしょ」



↑旅行のメイン(?) 秩父鉄道の元国鉄101系

西山「そりゃあそうでしょ中1の考えることなんだから」

前川「鉄研部員なんて普通じゃないやつの塊なんだから」

窪田「言ったな」

西山「いやお前が普通じゃねえだけだろ」

-不毛な言い合い 省略…-

窪田「まあそれはどうでもいいとして」

前川「そのあとに南武線に乗り換えて、武蔵小杉で解散」

窪田「そのあと JR 八高線だっけ？」

前川「ああ〜」

窪田「キハ 110 だっけ」

前川「うん、キハ 110 に乗って、高麗川まで行って、野菜電車で八王子に行って、」

西山「野菜電車とか懐かしいなあ www」

窪田「なんで野菜なの？」

前川「野菜色だからだよ」

窪田「野菜色ってなんだよ」

前川「ほうれん草と…」

西山「かぼちゃ」

前川「違うよニンジンだよ」

西山「ニンジン www」

西山「え〜今はなき某先生がね、『ねえ知ってる？209系って野菜電車って言うの』って」

窪田「覚えてない」

鵜木「緑色とオレンジ色だからね」

前川「それで一回目は終わりでしょ」

鵜木「俺は今ここを知らないから」

窪田「ああ一回目か」

初めての高学祭

---

西山「初めての高学祭か」

前川「ああ〜高学祭だねえ。お前高学祭来た？」

鵜木「高学祭？行ったよ」

窪田「なんかさあ、9月すごくいっぱい活動してたよね」

前川「そうだっけ」

窪田「月火木金やりましようとか言ってさ、(本来鉄研の活動日は火金)」

前川「全然覚えてない」

西山「俺はちゃんと行ったよ」

前川「どんな風だった？」

西山「えー、なんか BVE(運転シミュレーター)の指導してた」

窪田「(模型)体験運転補助はやったなあ」

西山「あの頃って実車運転台(実物の運転台を BVE を出来るように改造したもの)あったっけ?」

前川「いやあったあった昔からあったよ」

窪田「僕らが入った頃からあったよね」

西山「あのときはねえ、俺は呼び込みと模型運転(レイアウトで自分の N ゲージを走らせる)一回と BVE(運転補助)やったなあ」

窪田「でその年高学祭賞(高学祭来場者の得票数トップ)を取って、それ以来取れてない」

## 中1 冬旅行

前川「でえ〜っと高学祭の次は、冬旅行」

西山「俺行ってない。どこ行ったっけ」

窪田「東北」

前川「まず、最初にムーンライトえちごで、新潟に行って、ああ違うなあ」

窪田「違う違う。常磐線と水郡線だよ」

前川「ああそうだそうだ。で郡山まで行って、快速あいづを見て、」

西山「そのときの水郡線ってキハ 120 になってたとき?」

前川「なってたけど…」

西山「ああキハ 120 じゃなくてキハ 130…E130 か。もうなってたんだ」

前川「なってたなってた。であとはひたすら 713 とかで…715 だっけ?まあいいや」

(注:719 系です)

前川「で、宇都宮まで戻って、そこから日光線で、なぜか湘南色の 205 に乗って、え〜そこから自由行動だっけ」 (注:自由行動ではなく、東武特急スペーシアで浅草に戻りました)

窪田「一回家帰ったっけ」

前川「いや帰ってない。新宿からムーンライトえちごに乗って新潟に行って、余目だっけ?まで行って、でそこから代行バスに乗って、」

窪田「ああ乗ったねえ」

前川「で結局乗りきれなくて各駅停車の方に乗ったんだよね」

窪田「で結局遅れたんだっけ」

前川「いや遅れてないはず。あ遅れたか。遅れたね」

窪田「それでなんか(予定が変更になり、降りるのが)羽前千歳なのか北山形なのかって話に」

前川「結局情報が伝わんなかったんでしょ」

窪田「僕らはどっちで降りたんだっけな」

前川「羽前千歳で降りた」

窪田「雪投げたよね」



前川「投げたっけ」  
窪田「雪じゃなくて氷か？」  
鶴木「あははは」  
前川「それで水郡線で…」  
窪田「水郡線？仙山線」  
前川「あ仙山線で」  
窪田「仙台行って」  
前川「仙台からどうやって帰ってきたっけ？普通に東北本線だっけ」  
窪田「いや仙台から新潟まで自由行動で、」  
前川「であれに乗ったのか」  
窪田「磐越東線？」  
前川「磐越西線。であいづライナー」  
窪田「喜多方行ったよね」  
前川「喜多方行ったね。喜多方でラーメン食べた」  
前川「で最後新潟からあれで帰ってきて終わり」  
窪田「えちご？」  
前川「えちご。特に問題もなかったよね。その羽前千歳の一件以外は」  
西山「なんせ春旅行が問題だらけだったからね」  
前川「ああ～」  
窪田「春旅行？」  
西山「1つ上の TRKSB 氏がさあ、2つ問題を起こしてたじゃん。なにかを破ったり、なにかを返品したりさ」

-黒歴史掘り起こし 省略…

### 鉄研春旅行は5日間です

---

前川「まず、春旅行は、…」  
窪田「えちごで新潟行って、SL 乗って、」  
西山「俺は(自由行動班)今はいなくなっちゃった同じ学年の奴ふたりと、今はいなくなっちゃった教師と、今はいなくなっちゃった先輩と…俺以外全員いなくなってるじゃねえかww」  
窪田「僕たち OB の方と行ったんだっけ？」  
前川「うん」  
窪田「でもさあ、僕たちのところにもいなくなった人ひとりいたよね」  
前川「ああそっかいたね」  
窪田「それで、酒田でラーメン食べて」  
前川「これから北海道行くっていうのに道産子ラーメン食べて、意味わかんないよね」  
前川「そうしたら酒田で」

前川「(East - i)E だっけ？が来たね」

窪田「それから快速最上川とリゾートみのり」

西山「で初めて鉄研強歩大会したね、仙台で」

前川「で、えっとフェリー乗って、苫小牧行って、いくら丼食べた」

西山「俺の行程説明しようにも一緒に行った人今誰もいないからなー。本当なんなんだよ」

窪田「僕たちは苫小牧から南千歳で快速エアポートで札幌行って。白い恋人をリュックの中入れたらボロボロになってしまったんだ」

前川「そっからどうしたんだっけ？」

窪田「岩見沢いった」

前川「そうだっけ？次の711系の印象が強すぎてあんまり覚えてない」

窪田「その711で滝川行った」

前川「快速狩勝に乗って富良野行ってくまげら(レストラン)行って、気動車で旭川行った」

前川「で次の日また富良野から新得行って」

窪田「豚丼食べた」

西山「俺の行程無視するんすか？」

窪田「そっかも自由行動終わったのか」

前川「はいじゃあお願い」

西山「苫小牧から札幌行って、ラーメン食べて」

前川「僕そのころから観光とか無視してたから」

西山「すごく雪降っててびっくりした」

前川「で、そのあとは？」

西山「ラーメン巡りの後は…」

前川「巡りってそんなにいっぱい行ったの？」

西山「あのときは結構ラーメン食べた。新十津川行って、タクシーで滝川行って、スーパーカムイで深川、711で旭川行ってまたラーメン」

窪田「4日目の追分で40分(停車)あれすごいよね」

話が飛び2回目の北海道旅行の話になったので、省略

前川「新得から無料の特急乗ったんだよね。あれめっちゃめっちゃ長くてびっくりした。」

※新夕張まで普通列車が走っていないので特例として特急に追加料金なしで乗れる

前川「それで、千歳行きに乗って、」

窪田「(新千歳)空港行ったね」

前川「行ったね」

窪田「ボーディングブリッジ撮ったじゃん。」 ※当時模型班で空港を作っていた。

前川「はまなす乗ったね」

窪田「あれが最初で最後のはまなすだった」

西山「俺ブルジョアだからB寝台乗ったぞ」

窪田「本州戻ってきて…」

検閲により、省略

前川「本州戻ってきてからは、特に」

都心の通勤電車の話になったので、省略

進級 中学2年生に (鵜木入学)

---

鵜木のエピソードで盛り上がる

前川「こいつ (鵜木) がすいませんとか言ってたの。衝撃的。」

模型班の機密事項なので省略

窪田「僕は中1の冬に先輩に来年新入生の育成やってくれって頼まれた」

前川「僕は…あっ、空港だったけど、妖怪のせいであまり仕事しなかった」

窪田「まだそれひきずってたの？」

前川「ひきずってた。ハセ (先輩) に仕事しろって言われるまでずっと引きずってた」

中2のオプキャンは記憶があやふやなので省略

夏旅行

---

前川「箱根と草津行ったっけ？何で2日に分けたの？」

窪田「あのとき夜行列車の走らない日になってそれで、(リゾート) やまどり乗った」

前川「草津温泉行って、大して覚えてない」

窪田「でもその時の自由行動前川が作ったんだよ」

前川「まだそのときは素直だったんだよ」

窪田「湯畑いったよね」

前川「西山は？」

西山「行ってない」

検閲により、省略 (PART 2)

窪田「じゃあ2日目」

前川「箱根」

窪田「僕新宿で迷った」

検閲により、省略 (PART 3)

窪田「そういえばあのときすごい距離歩いたよね。野沢先生怒ってた。」

前川「そうだね」

窪田「野沢先生誕生日だったのに」

夏旅行終了

高学祭

---

前川「鵜木、高学祭だぞ」

鵜木「俺ハセさんに怒られた話しかない」

窪田「僕が空港のターミナル壊されたときだよ」

前川「僕は不真面目だったから傷つかなかった」

窪田「僕はそのときから後輩にそういうことをしないようにしている」

前川「僕は事実上初めてだった。楽しい思い出しかない」

西山「僕熱出して1日目休んだんだよ」

クラス出展の話になったので、省略

### 冬旅行

---

窪田「冬旅行といえば主役は前川でしょ」

前川「どこ行ったっけ？富山か」

窪田「富山（前川は富山行の列車内で忘れ物をした。今なお語り草となっている事件）」

前川「はいはい、わかりました」

窪田「福井で変なおじさんに会った」

前川「僕途中離脱したから知らない。その前に窪田のトイレとヨーグルトの話がある」

窪田「東京からどうやって行ったんだっけ？」

前川「ムーンライト信州。中央線が人身事故で遅れた」

トイレとヨーグルトの話、省略

前川「413系乗った」

窪田「475乗ったっけ？」

前川「乗ってない」

窪田「それで富山行って、ます寿司買って」

前川「その間に荷物を忘れましたと」

-不毛な言い合い 省略…-PART2

西山「お前ら何の話してんの？」

鵜木「富山の旅行かー。覚えてる」

検閲により、省略 PART 4

窪田「それで新潟から秋田にフェリーで行って、E6乗った」

冬旅行終了

中2の3学期の話題はそんなに盛り上がらなかったので省略

### 春旅行

---

前川「四国」

西山「ムーンライトながらの指定席がとれなかった」

窪田「岡山泊まってマリンライナー乗った」

前川「琴電乗った」

鵜木「話しかけてー」

西山「結局俺の自由行動話せないのかー」

西山「俺室戸岬行ったら、暴走族がいてめっちゃ怖かった。で高知のスーパーホテル」

窪田「某前顧問が寝坊。高知から特急で窪川行った。窪田と前川って散々言われた」

西山「俺たちは飛行機の博物館行った。足摺岬の先っぽ」

前川「ホビートレインで半家(はげ)駅行った」

窪田「道後温泉で帽子忘れた」

前川「あのとき宇和島でしっかり昼食たべたからさ、全然時間なくて」

西山「新型車両見た」

前川「下條先輩の大きなくしゃみ」

鶴木「フェリーで中橋先輩のナンパ」

窪田「阪急乗った。そのあと東海道線遅れて、名古屋3分乗り換え」

前川「上諏訪で…」

検閲により、省略 (PART 5)

春旅行終了

中3の1学期は前川が先輩への文句を言い出したので省略

前川「僕は大きく評価を上げた」

窪田「僕は後輩の育成した」

前川「僕はそんなに後輩覚えられない」

夏旅行

---

窪田「しまかぜ乗った」

前川「名松線で西山たちに会った。しまかぜより名松線のほうが楽しかった」

西山「俺も」

前川「しまかぜのブラインドが電動だった」

西山「阪急乗った」

夏旅行終了

今回は時間の都合とこの日以外メンバーが集まらず、中3までしか振り返りませんでした。後輩たちが彼らなりの視点で振り返ってくれることを切に願います。

初めて自分の会話をじっくり聞きましたが、4人とも言いたいことしか言ってないということがよくわかりました。話が脱線した部分はカットしていますが、みんな話題変えすぎです。倉本先生の指摘がわかった気がします。 (´▽`) Fin.